

読響

Yomiuri Nippon
Symphony
Orchestra
55th Anniversary

高らかに響くファンファーレ!

古代ローマの精魂が“神の手”で蘇る

YURI TEMIRKANOV, Conductor

世界各地の聴衆を魅了する
現代最高峰のロシアの巨匠

指揮 ユーリ・テミルカーノフ (読響・名誉指揮者)

TCHAIKOVSKY: Francesca da Rimini, op. 32
RACHMANINOFF: Rhapsody on a Theme of Paganini, op. 43
RAVEL: “Le tombeau de Couperin” Suite
RESPIGHI: Pini di Roma

チャイコフスキー: 幻想曲「フランチェスカ・ダ・リミニ」作品32
ラフマニノフ: パガニーニの主題による狂詩曲 作品43
ラヴェル: 組曲「クープリンの墓」
レスピーギ: 交響詩「ローマの松」

※指揮者の強い希望により、当初発表した曲目から一部変更となりました。何卒ご了承ください。

SUBSCRIPTION CONCERT No. 575
Friday, 16 February 2018, 19:00 / Suntory Hall

読売日本交響楽団 第575回 定期演奏会

2018 2/16(金) 19時 サントリーホール
S¥7,500 A¥6,500 B¥5,500 C **SOLD OUT**

読響チケットセンター 0570-00-4390

※10時-18時・年中無休(年末年始を除く)



NIKOLAI LUGANSKY, Piano

ベルリン・フィル定期デビューを飾った得意曲を日本で披露へ!
ピアノ ニコライ・ルガンスキー

ロシアの巨匠指揮者ユーリ・テミルカーノフは、オーケストラを存分にドライブして能力を引き出す達人だ。名誉指揮者の座にある読響の2月定期演奏会では、その腕前がことに引き立つロシアものとラテン系の作品を組み合わせた、ひと味違う粋なプログラムを聴かせてくれる。

読売新聞に掲載された2017年暮れのインタビュー記事で、来日時に79歳を迎えている巨匠は、「もう自分は好きな作品しか指揮しない年齢になった」と語っている。そんなマエストロが読響の看板シリーズでもある《定期演奏会》向けに自ら選び、強く希望したのが、前半にチャイコフスキーとラフマニノフ、後半にラヴェルとレスピーギという、オーケストラの華やかな色彩が全開となる魅力的な4曲のコンビネーションだ。

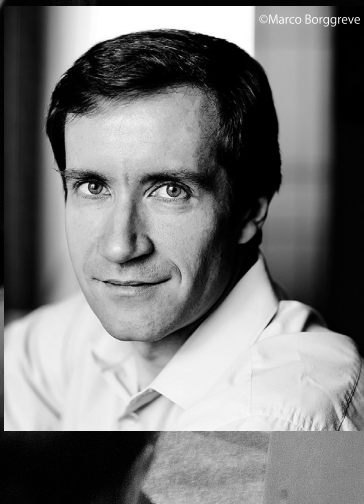
冒頭に演奏するチャイコフスキーの幻想曲「フランチェスカ・ダ・リミニ」は、ダンテ「神曲」の絶唱とされる「地獄篇」第5歌の詩を題材にしており、エネルギーに満ちた重量級の曲。チャイコフスキーらしい、息の長い美しい旋律も印象的だ。続いて演奏するのは、ラフマニノフ「パガニーニの主題による狂詩曲」。テミルカーノフは「ラフマニノフの作品は全て好き。最もロシア的で美しく、その美の背後に悲劇性が潜んでいる」と魅力を語っている。巨匠が「最も信頼しているピアニストの一人」と高く評価する名手ルガンスキーの表現力豊かな妙技もお楽しみいただきたい。

後半の1曲目は、ラヴェル「クーブランの墓」。テミルカーノフは読響で2015年にラヴェル「ダフニスとクロエ」第2組曲を指揮し、カラフルな音色や躍動感あふれるリズムを浮き彫りにした。今回もマエストロの「魔法の手」に導かれて、繊細な響きを作るだろう。最後は、レスピーギ「ローマの松」で輝かしく締めくくる。テミルカーノフはレスピーギについて「真のイタリア人。極めて色彩的で、創意工夫に富んでいる」と評し、彼の作品を「いつも喜んで指揮している」と語っている。「ローマの松」では、最後に凱旋行進曲のファンファーレが壮麗に鳴りわたり、至福の時間が訪れるだろう。

巨匠テミルカーノフが紡ぐ至福の時間

ユーリ・テミルカーノフ(読響・名誉指揮者)
YURI TEMIRKANOV, Conductor

世界各地で愛されているロシアの偉大なマエストロ。ムラヴィンスキーの後を継ぎ、1988年から現在に至るまでサンクトペテルブルク・フィル(旧レニングラード・フィル)の芸術監督・首席指揮者を務め、充実した音楽活動を展開している。これまでにレニングラード響、ロイヤル・フィルの首席指揮者、キーロフ劇場(現マリインスキー劇場)の音楽監督、ドレスデン・フィルの首席客演指揮者などを歴任。ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ロンドン響、ニューヨーク・フィルなど世界の一流楽団と共演を重ねている。BMGレーベルから多数のCDをリリース。読響には2000年の初登場以来、共演を重ねており15年6月から名誉指揮者の任にある。楽団員と聴衆双方から絶大な支持を得ている。



©Marco Borggreve

ニコライ・ルガンスキー(ピアノ)
NIKOLAI LUGANSKY, Piano

誇り高いロシアン・ピアノイズムの伝統を継承する名手。強靱な打鍵と繊細な詩情を併せ持ち、聴衆を魅了している。1994年チャイコフスキー国際コンクール最高位入賞するなど、輝かしいコンクール歴を誇る。テミルカーノフ、ロジェストヴェンスキー、ゲルギエフ、フェドセーエフ、シャイーら巨匠たちの指揮で、ミュンヘン・フィル、ロンドン響、ウィーン響、ボストン響、パリ管、ベルリン・ドイツ響など世界の一流楽団と共演を続けている。2016年10月にはベルリン・フィル定期に初登場し、ソビエフ指揮でラフマニノフ「パガニーニの主題による狂詩曲」を弾き、絶賛された。数多くのCDをリリースし、「ディアパソン・ドール」や「エコー・クラシック」賞に輝くなど高く評価されている。

読売日本交響楽団 第575回 定期演奏会

2018年 2月16日(金) 19時開演

サントリーホール

S ¥7,500 / A ¥6,500 / B ¥5,500 / C **SOLD OUT**

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

■学生券: 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休(年末年始を除く)

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可能(一部の機器を除く) *チケットの送料は無料

プレイガイド: チケットびあ 0570-02-9999、サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017